

第4号議案

令和8年度事業計画(案) (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

特定非営利活動法人
京都観光文化を考える会・都草

1 基本方針

会員の“京都への想い”を大切にしながら、楽しく、生きがいのもてる事業を推進する。また、社会に信頼される NPO 法人として各界とも連携し、京都の観光・文化の振興をめざす。

- 会員の豊富な知見と向学心、広範な京都の魅力発信に対する意欲等を活かせる事業を行う。
- 高齢化が進む中、各事業の運営については会員の安全性を最優先とする。
- 「観光文化」を標榜する都草は、内外の文化的活動を更に充実させる。
- AI の目を見張る進化など社会状況が急激に変化する中、都草活動にとって必要性の高いデジタル化については積極的に推進していく。
- 令和9（2027）年の 都草創立20周年へ向けて、昨年度に「20周年記念実行委員会」が発足したが、引き続き令和10年1月16日（日）の記念式典の開催、記念誌の発行、記念事業の立ち上げなどの準備を粛々と進めていく。
- JR 京都駅北口広場の「平安京羅城門模型」の柵に看板を設置（寄贈）したことを契機に、此处を基点とした観光案内ルートの開発を模索する。
- 地域および、国・京都府・京都市・京都商工会議所・各大学・地域団体・法人会員などとの連携を深めながら、信頼される NPO 法人として、社会的役割を果たしていく。

【主な事業】

◎社会連携事業

- ・京都御苑歴史研究会では、一昨年 of 京都御苑歴史散策ガイドツアー10周年記念事業の成果を踏まえて、今後も研修会の継続を通じガイド内容の向上を図り、参加者の満足度を高める。加えてガイドの救急講習受講を必須とし、ガイド全員の総合力向上を目標とする。
- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場の案内・監視業務を全うするにあたっては、旧本館案内のレベルアップを図り、多くの会員活動の場を維持するためにも勉強会を継続実施していく。京都府庁旧本館土曜講座については、今年度も年6回開催する。これらの活動をふまえ、開かれた京都府庁のあり方を広報する業務を遂行していく。さらに、「salon de 1904」との関連受託事業についての要請があれば、今後も引き続き協力していく。
- ・地域の伝統行事継承支援として、祇園祭四条町大船鉾や、時代祭に係るボランティア活動を継続する。
- ・美化活動は、会員の活動参加をさらに促すため、過去の奉仕先に加えて新たな奉仕先の開拓を進め、加えてグループ LINE の活用により活動への関心を高める。
さらに、引き続き若い運搬要員の確保に努め、各社寺との友好な関係を維持する。清掃用具を適宜更新しながら維持管理に務める。
- ・京都市の「双京構想推進事業」については、市から要請があれば従来通り協力する。

◎会員事業

- ・歴史探訪会は、安全対策と担当者の高齢化問題をふまえて、現在の4部会体制を2部会に統合・改編する方向での検討を始める時期に差し掛かっている。それを前提に実施回数・コース等も勘案しつつ、今後の活動の具体的方向性を立案していく。令和8年度は、現行通りとし、当日には必要な安全対策に注力し6回 実施する。

- ・研究発表会は、会員は無料参加で、年間7回 開催する。1回に2名の発表で、時間は一人80分。会員の専門知識の向上とその勉強の成果を発表できる場があることで会員自身の目標となりそれが生きがいにつながる。加えて会員同士のコミュニケーションも図る。また、発表は録画し YouTube で会員限定公開する。
- ・文化部は、文化交流部会と映画研究会という二つの活動になる。
文化交流部会は、情報収集に努めバラエティのあるジャンルで企画立案し、参加者の安全を最優先に実施する。今年度は、楽々荘見学・鉄道博物館見学・頼山陽書斎山紫水明処見学などを実施予定。
都草 映画研究会は、京都に関係する映画についての研究・調査体制を確立し、映画振興活動への協力支援を行う。隔月で会合と映画観賞会を開催し、定期的に映画関係者との交流を行う。
- ・都草会員有志によって運営されるわくわく倶楽部は、「わくわく研究会」と「祇園祭研究会」を継続して実施する。この二つの活動の成果は、会員ならびに社会に向けて発表する。
「わくわく研究会」は、《新・京都の七不思議》の選定に向けその準備段階の活動として、先人の選定した七不思議を踏査する。
「祇園祭研究会」は、中京区・下京区の粽調査結果を踏まえ、さらに研究を深める。
祇園祭研究会メンバーが、都草会員を対象として、来年度に祇園祭宵山の案内を実施する予定。本年度は、その前準備として安全確保や暑さ対策などを熟考し、ツアー企画を立案、祇園祭研究会メンバーのみで下見を兼ね実施する。
- ・京のこと語り隊は、非常に困難であるが有力ホテル・文化施設等の新しい依頼先を模索する。
- ・ガイド研修部門は、会員の安全を第一に考える都草として、救急措置の重要性を認識し、主にガイド等の活動をする会員に対しての救命救急研修（京都市消防局）を上京消防署の協力を得て実施する。
- ・都草のホームページや都草だよりを通して、都草の活動方針や内容をタイムリーに発信し、会員にとってまた一般の方々に向け、都草の活動が楽しく意義のある活動であることを認識できるツールとする。
- ・映像事業は、京都の観光文化の新たな魅力を都草らしい独自の視点で掘り起こし、映像制作者としての‘都草’をさらに広く知らしめる。メンバーを増強し、脚本・撮影・編集のダブルスタッフ化を進め技術伝承と制作体制強化を図る。
引き続き年間 5作品を目標に、最低4作品の制作を目指す。その際に、都草の他の事業と連携した作品を最低1作品 制作する。また、ドローン撮影が必要な作品によっては、ドローン事業者への費用が発生する。
- ・会員台帳システムの機能を十分に活用し、会員の積極的な活動参加や活動・組織体制の利便化・充実化に結び付ける。

◎主催事業

- ・都草主催の京都通模擬試験は、受験者総数200名を目標とし、10月11日（日）に開催する。
京都検定1級受験者に一層役立つ、信頼される模擬試験を目指し、委員会活動は、月1回を原則に開催する。解答解説講習時間は120分とする。
また、第4回京都検定1級合格対策直前問題演習会を、京都・東京の2会場、自宅受講も可能な形式で開催する。より良い演習会になるように当日のタイムテーブルや解答解説の形態についてさらに検討していく。
- ・都草講演会は、会員の知識向上のため専門知識を持った講師を招き、都草主催の講演会を実施する。一般の方の参加も見込んで、6月・1月の年2回 京都学歴彩館で開催する。今年は、京都大学名誉教授高木博志氏の「皇室と仏教信仰の行方―明治維新と泉涌寺―」と、京都産業大学文化学部京都文化学科教授村上忠喜氏による講演（演題未定）の2回 とする。

◎受託事業：案内業務

- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場、社会人大学校、三井ガーデンホテル京都、京都東急ホテル、単発ガイド等のツアーガイド業務は引き続き行う。
都草に相応しい内容の案内依頼であれば、今後も NPO 法人として責任のもてる範囲で受託していく。

◎受託事業：講座業

- ・京都新聞文化センター主催の京都検定1級対策講習会は、例年高い評価を受けている。京都会場3回、東京会場1回で実施する。
令和8年度も、1回の講習会を2日に分けて実施するため、講習時間合計は10時間となる。
- ・ヤサカ観光講座では、京都検定2級・3級合格に役立つ講習会を11回開催し、社内試験用問題を100題、2回に分けて提供する。
- ・京都の歴史や伝統文化・行事祭事等について話をする「おでかけ講座」として、京都伝統工芸大学校、社会人大学校、阪急交通社「たびコト塾」等の講座を継続する。
- ・修学旅行の事前学習指導については、スタッフの拡充を模索しながら昨年度に実施した2校に1校以上を加えて実施することを目指す。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	スタッフ	対象者と予定人数
美化活動	観光地・社寺・史跡等の美化活動	年約15回	京都府内	8名	会員・一般 400名
京都御苑歴史研究会	京都御苑歴史研究会	年1～2回	未定	9名	部員 30名
	京都御苑御所 歴史散策ツアー	毎週日曜日	京都御苑・御所 4コース	21名	一般 400名
	京都御苑案内 (団体予約)	年数回	京都御苑	15名	一般 多数
伝統文化支援	大船鉾支援ボランティア	令和8年 7月20日～24日	大船鉾	35名	一般 多数
	北観音山曳き手	令和8年7月24日	巡行コース	1名	会員数名
	時代祭支援ボランティア	令和8年10月22日	案内・交通整理	20名	一般 多数
府庁連携	京都府庁案内 (旧本館・旧議場)	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	府庁旧本館 府庁旧議場	18名	一般 約3000名
	旧議場土曜講座	令和8年6月1日～ 令和9年3月31日 (6回)	府庁旧議場	4名	一般 360名
歴史探訪会	社寺・史跡等 歴史探訪会	年6回	京都府内	33名	会員 240名
文化交流	文化交流部会	年2～4回	京都府内	7名	会員 80名
	映画研究会	月1回	京都市内	2名	部員 30名
研究発表会・講演	都草研究発表会	年7回	ひと・まち交流館 京都、オンライン	6名	会員 200名
	都草講演会	年2回	京都府立京都学・ 歴彩館	12名	会員・一般 400名

各種研修会	ガイド研修会	年1回	ひと・まち交流館 京都	3名	会員 50名
	京のこと語り隊	年数回	各地	4名	会員 50名
都草 わくわく 倶楽部	わくわく研究会 (フィールドワーク・発表会) (7不思議調査)	年8回	京都市内	6名	部員 40名
	祇園祭研究会	年数回	京都市内他 現地	6名	部員 40名
ガイド ツアー	三井ガーデンホテル	毎週金曜日	京都市内	6名	一般 100名
	京都街歩き (伊藤グループ)	年8回	京都市内	8名	12～13名
	単発依頼ガイド	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	京都市内	30名	一般 500名
京都検定 対策	京都通模擬試験	令和8年10月4日	平安女学院大学 自宅	26名	会員・一般 220名
	京都商工会議所・京都新聞文化センター共催 京都検定1級対策講習会	令和8年7月・8月 (4回)	京都経済センター 未定(東京)	9名	一般 400名
	京都検定1級合格対策 直前問題演習会	令和8年11月15日	平安女学院大学 明治大学(東京) 自宅	10名	会員30名・一般70名
	ヤサカ観光講座	令和8年7月～11月 (11回・補講2回)	彌榮自動車	12名	ヤサカ社員10名/回 会員 10名/回
おでかけ 講座	京都伝統工芸大学校	令和8年4月～9月	二本松学院 オンライン	3名	学生 125名
	修学旅行事前学習会	令和8年5月～11月	東京3～5校	5～8名	学生 350名
	単発講演依頼	年数回	各地	4名	一般 150名
	平安女学院大学 「京都観光文化演習」	令和8年4月～7月	平安女学院大学	2名	学生14名
	京都検定講演会(東京)	令和8年5月23日	大正大学	1名	未定
複合業務	社会人大学校 (講座)	年8回	平安女学院高校	8名	一般 400名
	社会人大学校 (ツアー)	月4回×8ヶ月	京都市内	64名	一般 1200名
	阪急交通社(講座) 大阪	月1回	梅田阪急 グランドビル30F オンライン	16名	一般 800名
	阪急交通社(講座) 東京	月1回	阪急交通社 東日本営業部 新橋センター	4名	一般 300名
	枚方百歳大学 (講座・ツアー)	隔月	枚方楽寿荘	1名	20～40名/回
月刊誌	『月刊京都』連載	月1回	京都府庁事務所	11名	約5万部
広報	映像プロジェクト	年5本	京都府庁事務所 現地	9名	一般 多数